

鹿児島県立鹿児島南高等学校

令和 8 年度

鹿南高魂育成のための  
教育活動計画

普通科

# 令和8年度 鹿南高魂育成のための教育活動計画内容一覧

## (目次)

シラバス内容		内容の掲載ページ		
		普通科	商業・情報処理科	体育科
1.教育目標等		p.1 (全学科共通)		
2.ループリック		p.2 (全学科共通)		
3.年間教育活動計画	1年	pp.3-4 (全学科共通)		
	2年	pp.5-6 (全学科共通)		
	3年	pp.7-8 (全学科共通)		
4.学習活動計画	国語	pp.9-18	pp.9-13	pp.9-13
	社会	pp.19-32	pp.14-16	pp.14-16
	数学	pp.33-37	pp.17-19	pp.17-19
	理科	pp.38-48	pp.20-21	pp.20-22
	体育	pp.49-53	pp.22-26	pp.23-24
	芸術	pp.54-62	pp.27-29	pp.25-27
	英語	pp.63-69	pp.30-32	pp.28-30
	家庭	p.70	pp.33-34	pp.31-32
	情報	p.71	—	pp.33
	商業 商業・情報処理科 専門	—	pp.35-64	—
	体育 体育科 専門	—	—	pp.34-50

生徒の迎える未来＝変化の激しい未来  
 (AI・ロボット・新技術の発展に伴う職業の淘汰, ライフデザインの変更, 価値観の変化)

そこで

鹿児島南高校としてのミッション: 自ら未来を切り拓く人材の育成を目指す  
 主体的に考え, 能動的に行動し, (独立自尊)  
 常にチャレンジ・進化し続け, (開拓創造)  
 他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人材の育成をはかる

具体的には

**【普通科】**  
 多岐にわたる分野で未来をデザインし, 世界へ発信するリーダー及びチームとして協働できる人材

**【商業科・情報処理科】**  
 ビジネス・情報のスペシャリストとしての自覚を備え, グローバルに活躍するビジネスリーダー及びチームとして協働できる人材

**【体育科】**  
 日本や世界のスポーツの発展や振興, 競技力の向上のためのリーダー及びチームとして協働できる人材

学科の特性を活かした教育 “鹿児島に貢献し, そして世界へ”

必要な力

鹿児島南で身につける力＝“鹿南高魂”の育成

- 【学科共通】基礎力:** あいさつ・礼儀作法, 思考・実践の材料や根拠となる学力(知識), 他者との関わりで欠かせないコミュニケーション能力(聞く力も含む), 情報収集力等
- 思考力:** 想像力・未来を予測する力, 課題を発見する力, 客観的に物事を見つめる力(メタ認知), 論理的思考力(筋道を立てた考え方), 情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング)), 創造する力等
- 実践力:** 情報発信力(ICTの利活用等), 課題を解決する力, 未来を切り拓くキャリア設計力, 主体的な行動力, 協働力(チームワーク)等

**【普通科】**  
 グローバルな視野で世界を考え, 現代社会の抱える課題を克服に導く力

**【商業科・情報処理科】**  
 経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力

**【体育科】**  
 スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力

様々な活動を通して

育成期  
1学年

【共通】 新入生が慣れる, 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 一日遠足  
 【普通科】 全国統一模試, 文理選択, GTEC受験, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】 進路マップ, 各資格検定  
 【体育科】 進路マップ, 野外活動

充実期  
2学年

【共通】 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 修学旅行  
 【普通科】 全国統一模試, GTEC受験, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】 進路マップ, 就業体験学習, 各資格検定及び上級資格検定  
 【体育科】 進路マップ, 野外活動

発展期  
3学年

【共通】 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 受験勉強  
 【普通科】 全国統一模試, 総合的な探究の時間  
 【商業科・情報処理科】 課題研究, 各資格検定及び上級資格検定  
 【体育科】 野外活動, 課題研究

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指す姿
基礎力	挨拶・礼儀(基礎人間力)	相手に挨拶されたら挨拶を返す。敬語が使える。	自分から積極的に挨拶をすることができる。敬語の使い分けができる。	校内はもちろん、校外においても自分に関わりのある地域の方や保護者の方々に積極的に声を出して挨拶ができる。	校外外において、笑顔で、誰に対しても挨拶ができ、相手の心情や状況に応じた振る舞い(会釈と語先後礼の使い分け等)ができる。	自ら未来を切り拓く人 主体的に考え、能動的に行動し、(独立自尊)常にチャレンジ・進化し続け、(開拓創造)他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人
	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	授業の内容を教師の説明を聞いて理解する。または定期考査で80点程度取れる。	一度授業で扱ったところの学習内容を復習等見直すことで思い出せる。または定期考査で60点程度取れる。	学習内容がしっかりと定着しており、いつでもそれを引き出すことができる。または定期考査で70点程度取れる。	普段の生活の中で学習内容をいつでも応用させることができる。または定期考査で80点以上取れる。	
	コミュニケーション能力	発表を原稿を読みながら伝える。人の話を静かに聴く。	聞き手の目を見ながら伝えることができる。相手の話を聞きながら要点を整理できる。それに感想を言える。	相手の反応に応じて適切な言葉遣いで伝えることができる。相手の話の要点をまとめ、根拠のある批評的的確な質問をすることができる。	適切な言葉遣いや話術で説得力のあるプレゼンや説明ができる。他者からの質問や批判に真摯に耳を傾け、聞かれたことに的確に答えたり、批判を謙確できる。	
	情報収集力	情報源を複数持っている(ほしい情報がどれを調べれば入手できるか知っている)。	観察した状況から問題点や課題を考えようとする。	状況を整理して問題点や課題を他者に伝え、他者からもさらに関連する情報を得ることができる。	整理した状況から次のステップに移る手段を提案できる。	
思考力	想像力・未来を予測する力	物事や行動について、その後の結果を考える習慣が身につけている。	物事や行動の結果を過去の経験や現在の状況を踏まえて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考えることができる。	未知の状況を、現在とることのできる手段に応じて考え、何らかのアクションを起こすことまで考えることができる。	
	課題を発見する力	自己の生活や身近な社会について改善したほうが良いと考えていることがある。	自己の生活や身近な社会から、地域社会や世界に拡張して改善したほうが良いと考えていることがある。	改善したほうが良いと考える課題の原因にまで掘り下げてその改善策を探究することができる。	課題の原因や改善策を追求する中で生じた新たな疑問を発見できる。また、改善策を多角的に検討することができる。	
	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	自分の学習状況の理解と不足しているものを理解している。	自分の学習に不足しているものを理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	学習計画を立て計画的に克服のプロセスを踏んでいる。	自分の学習計画や学習方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。	
	論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点をそれぞれ理解している。	自分との共通点・相違点がそれぞれ生じている理由や根拠を言うことができる。	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析をしたりして、見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる見解を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析したりしている。さらに、根拠に基づいた多角的な視点で探究している。	
	情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング))	日常生活の中で『なぜ?』という問いかけをするようにしている。	感じた疑問の解決策を、自分の今現在持っている情報をもとに考へることができる。	感じた疑問の解決策を、複数の情報を批判的に吟味した上で取捨選択し、総合的に考えることができる。	感じた疑問の解決策を考える中で生じた新たな疑問に対しても、同様に批判的な情報吟味によって解決策を考え提案できる。	
	創造する力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の意見・様々なアイデアを活用しようとするることができる。	積極的に求めて得た複数の意見・アイデア・計画を統合し、独自のアイデアを考えることができる。	独自のアイデアや計画を創造し、他者とともにそれを実現しようとする。	
実践力	情報発信力	伝えたいことを自分の中で思いついている。	伝えたいことを一方的に相手に伝えることができる。	伝えたいことを、最も効果的な伝達手段を考えて、それにしたがって伝えることができる。	相手に伝えたことを聞きながら、さらに情報を修正整理して伝えることができる。	
	課題を解決する力	課題の存在やその内容を理解している。	課題の原因や背景を追究し、解決するプロセスを提案できる。	原因を追究し、解決する様々なプロセスを検討し、1つ以上の解決策を提案する。実行可能性についても検討することができる。	原因追究に基づいて解決策を提案し、実行可能性や解決のメリット・デメリットについて幅広く考えることができる。	
	未来を切り拓くキャリア設計力	働くことの意味を理解している(職業観の育成がなされている)。将来の進路について考えている。	自己の適性を理解しようとして、進路についての情報を集めたり等して積極的に模索している。	希望する進路に向けて、自らの進路を切り拓くための課題(学力や教科バランス等)を理解している。	将来の夢の実現のために希望する進路や自己の適性を把握し、進路実現に向けて自らの課題を克服する努力を継続している。	
	主体的な行動力	言われたことを、言われたことの意味を理解したうえで言われたとおり実行する。	言われたことをそのままではなく自分なりの改善を加えて実行できる。また、自分の経験からとるべき行動を考えることができる。	自分がとるべき行動を周囲の状況から判断して自発的にとることができる。チームやメンバーの作業の進捗状況からスケジュール・締切に応じたタイムマネジメントができる。	周囲を巻き込みながら自発的な活動を拡大していくことができる。チームやメンバーの能力や適性に応じて作業を割り振り、適宜必要な修正を加えながら完成まで導く。	
	協働力(チームワーク)	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて行動計画を示したり、他者の提案を受け入れたりし、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考えを示すことができる。メンバーのモチベーションを上げて前進を助ける。	チームで課題解決した成果や手ごたえが持てる。また、チームメンバーがその課題を卓越したレベルで完成するのを率先して支援することができる。	
普通科	グローバルな視野で世界を考え、現代社会の抱える課題を克服に導く力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 地域社会も含む世界に興味関心がある。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 世界の情報や知識を自分のできる範囲の努力で得ている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 世界各地が抱える具体的な課題に対して原因を知り、自分の意見を持っている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 世界が抱える具体的な課題に対して自分自身がどう行動すればよいか考え、行動に移している。	
	経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 【観る力】相手の立場や考えを尊重し、その形成過程等を的確に捉えることができる。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 【書く力】過不足なく聞き取り(聞く)、話を引き出し(聴く)、根拠適否を確かめるための適切な質問(訊く)ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 【伝える力】要点をまとめ、簡潔に話し、相手に印象づけるために抑揚をつけて話ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 【感じる力】相手の心情を察知し、会話等をおし、相手をよりよく知ることができる。	
	スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 生涯スポーツに向けて、運動やスポーツの技能を高めたり、健康的な生活習慣を身につけたりしている。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 健康やスポーツを社会の中で考へていける力を身につけている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 自らの競技力向上だけでなく、チームや他者の競技力向上にも適切な援助ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 競技者としてだけでなく、指導者としてふさわしい資質を身につけている。	













使用教科書	『現代の国語』(東京書籍)	副教材等	『書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字』(桐原書店)・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典を読むために必要なきまりを理解する。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準			
			力探訪・礼儀(基礎人間)	思考・判断となる学芸(材料や取扱い)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見出す力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	シナジー力(批判的シンキング)	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		未来を切り拓くキャリア	主体的な行動力	高められる力(ワーク)
一学期 (基礎力養成期)	4	〔読解編〕 「木を見る、森を見る」	○	○		○													【知技】評論を読むために必要な語彙を身に付け、話や文章の中で使えるようになる。 【思判表】表現や構成に注意して読み、筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	5	〔探究編〕 「本を紹介する」	○	○	○						○	○							【知技】図書館の利用法を理解し、活用できるようになる。 【主】本を紹介するために、説明の仕方を考えて話すようになる。 【知技】二項対立の表現に注意して読み、内容を整理できるようになる。
		〔読解編〕 「水の東西」	○	○			○	○	○				○						【思判表】筆者のものの見方や考え方を読み取り、日本文化の特徴について理解を深める。
	6	〔読解編〕 言葉は「もの名前」ではない	○	○	○										○	○			【知技】具体的な例示と筆者の意見に注意して読むことができるようになる。 【思判表】筆者独自の表現に注意して読み、言葉とものの本質について考えを深める。
7	〔探究編〕 「1 課題の設定」	○	○	○											○	○		【知技】思考や発想を広げるための方法を知り、実践できるようになる。 【主】設定した課題について考えを整理し、意見をまとめられるようになる。	
二学期 (基礎力養成期)	9	〔読解編〕 「時間と自由の関係について」	○	○	○														【知技】文章の構成や展開に注意して読むことができるようになる。 【思判表】時間と自由の関係について筆者の主張を的確に読み取り、自分に引き寄せて考えを深める。
	10	「真の自立とは」	○	○															【知技】評論を読むために必要な語彙の獲得に努め、事例と意見を整理して読解できるようにする。 【思判表】自立のあり方についての考察を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。
		〔探究編〕 「2 情報の収集」	○	○	○														【知技】メディアの性質を知り、活用して情報収集できるようになる。 【主】集めた情報を吟味し、伝えたいことを整理して、意見をまとめられるようになる。
	11	〔読解編〕 「生物の多様性とは何か」	○	○	○														【知技】構成や展開に注意して、内容を読み取ることができるようになる。 【思判表】「生物多様性」がなぜ重要なのか、筆者の主張に沿って理解を深める。 【主】評論文を積極的に読み、現代社会の問題を捉えて自分の考えをまとめられるようになる。
12	「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」	○	○	○														【知技】筆者の提示する問題を読み取って、整理できるようにする。 【思判表】構成や展開に注意して読み、人工知能と人間の違いについて考えを深める。	
三学期 (思考力養成期)	1	〔読解編〕 「学ぶことと人間の知恵」	○	○															【知技】関連教材「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」と読み比べ共通点と相違点を整理できるようになる。 【知技】引用の役割に注意しながら読むことができるようになる。 【思判表】物事を見つめる視点の重要性について理解を深める。 【主】筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようになる。
	2	「鳥の眼と虫の眼」	○	○															【知技】異なる主張の文章を読み比べ、違いを整理し他者に説明できるようになる。
	3	〔探究編〕 「3 整理・分析」	○	○	○														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・単元テスト、定期検査や課題実力検査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期検査や課題実力検査
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取り組み状況 ・話し合い活動や発表の状況

使用教科書	『改訂版 高等学校言語文化』(数研出版)	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字」(啓隆社)・「新明説総合古典文法」(尚文出版)・「新明説漢文」(尚文出版)・(古語辞典)
学習の到達目標	知識・技能	国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典を読むために必要なきまりを理解する。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準			
			方換・礼儀(基礎知識)	と思考・可読性(基礎知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・主眼を予測する	課題を見極める力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	力批判的・創造的思考力	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	読書力を切り拓くキャリア	主体的な行動力
一学期 (基礎力養成期)	4	古文入門 「鬼のそら寝」	○	○				○	○								【知技】・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようにする。 【思判表】・「読むこと」において、作品の成立した背景や経緯等を知り、古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようにする。 【主】・古典の特徴を理解し、作品の内容を的確に捉えることができるようになる。  【知技】・比喩などの修辞について理解を深めている。 【思判表】・登場人物の心情の変化を、場面・場面に応じて読み取り、主題について考えをまとめられるようになる。 【主】・小説の内容を通して、社会の矛盾に気づき、問題意識をもつことができる。  【知技】・古典の世界に親しむために、文語のきまりや訓読のきまり、特有の表現等を学ぶ。 【思判表】・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようにする。 【知技】・訓読の決まりを理解し、読むことが出来るようになる。 【思判表】・現在用いられる故事成語の多くが漢文に由来することを踏まえたうえで、故事成語の成り立ちへの理解を深める。
	5	漢文入門 「入門一」「入門二」	○	○					○	○							
	6	「産生門」  徒然草 「ある人、弓射ることを習ふに」	○	○					○	○							
	7	戦国策 「蘇借虎威」	○	○					○	○							
二学期 (基礎力養成期)	9	伊勢物語「芥川」	○	○					○	○							【主】・歌物語の特徴を理解し、その表現の手法やテーマに沿って、各草段に描かれた内容を的確に捉えることができるようになる。 【主】・日本語と漢文で異なる意味をもつことを知り、本文に合わせて説明できるようにする。  【思判表】・小説表現の面白さを味わいながら、登場人物の行動や心情を読み取り、考察する。  【知技】・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるようにする。  【主】・話の展開や登場人物の言動を読み取り、十八史略の面白さを味わう。
	10	漢詩「静夜思」「送元二使安西」「登高」  「沖繩の手記から」	○	○					○	○							
	11	枕草子 「ありがたきもの」	○	○					○	○							
三学期 (思考力養成期)	12	十八史略「先從陳始」	○	○					○	○							
	1	土佐日記「門出」	○	○					○	○							
2								○	○								
3	「論語」	○	○	○				○	○							【主】・自分のものの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、「論語」を読んで、孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり、「論語」の注釈を読んで、自分の考えを伝え合ったりすることができるようになる。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う単元テスト、定期考査、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期考査、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選論理国語』 (三省堂)	副教材等	『書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字』 (桐原書店) ・ 国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	論理的な文章を読解するのに必要な語彙力や知識を身に付ける。論理の構造を理解して筆者の主張を正確に捉える。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、現代社会の問題への理解を深める。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力						実践力				活動内容・評価規準			
			力探得・丸読(基礎人間)	思考・実用(実践の材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見極める力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	シグナリ能力(批判的シンキング)	情報分析力(批判的シンキング)	創造する力	情報を伝達する力	課題を解決する力		本音を切り拓くキャリア設計力	主体的な行動力	協働力(チームワーク)
一学期 (基礎力養成期)	4	「論理力と思考力」 「納得の構造」	○	○	○		○		○										[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	6	「めくみ」 「マルジャーナの知恵」	○	○	○		○	○	○	○				○					[知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、考え方を読み取り、情報社会を生きるうえで大切なことについて考えを深める。
	7	「世代間倫理としての環境倫理学」	○	○			○	○	○	○				○	○				[知技]・環境や資源の問題について理解しながら読む。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、未来世代への責任という観点から環境問題を考えることができるようになる。 [主]・評論文を積極的に読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えようとしている。
二学期 (思考力養成期)	9	「記号を使う動物」 「言葉がつくる女と男」	○	○			○	○	○	○				○					[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、言葉の創造的な側面について理解を深める。
	11	「病と科学」 「ゲノム編集とiPS細胞」	○	○			○	○	○	○				○					[知技]・筆者の提示する問題を読み取って整理できるようにする。 [思判表]・さまざまな観点から生命についての理解を深め、自分の意見をもてるようにする。 [主]・学術的な概念を扱った評論文を読み、積極的に内容を理解しようとしている。
	12	「ミロのヴィーナス」 「空白の意味」	○	○			○	○	○	○				○					[知技]・表現上の工夫とその効果に注意して論の展開をつかめるようにする。 [思判表]・論理展開に留意しながら的確に筆者の主張を読み取り、芸術について理解を深める。
三学期 (応用力養成期)	1	「『なぜ』に答えられない科学」	○	○	○		○	○	○	○				○					[知技]・筆者の提示する問題を読み取って整理できるようにする。 [思判表]・筆者の主張を読み取り、科学の知とはどのようなものなのかを理解する。
	2	「『市民』のイメージ」	○	○	○		○	○	○	○				○					[知技]・提示された事例について整理できるようにする。 [思判表]・筆者の考える「市民社会」について理解し、現代社会の課題について考えを深める。
	3	「『である』ことと『する』こと」	○	○			○	○	○	○				○					[知技]・例示と意見の関係を整理して読解できるようにする。 [思判表]・筆者の主張を理解し、変化する社会における人間のあり方について考えを深める。 [主]・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選論理国語』 (三省堂)	副教材等	『書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字』 (桐原書店) ・ 国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	論理的な文章を読解するのに必要な語彙力や知識を身に付ける。論理の構造を理解して筆者の主張を正確に捉える。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、現代社会の問題への理解を深める。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準			
			力探・丸後一基礎人間	思考・実践となる学力(知識・理解)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	課題を克服する力	論理的に物事を見つめる力	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		未来を切り拓くキャリア設計力	主体的な行動力	一歩踏み出す力
二年(基礎力養成期)	4	「論理力と思考力」 「納得の構造」	○	○	○														[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	6	「ぬくみ」 「マルジャーナの知恵」	○	○	○														[知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のもの見方、考え方を読み取り、情報社会を生きるうえで大切なことについて考えを深める。 [知技]・環境や資源の問題について理解しながら読む。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、未来世代への責任という観点から環境問題を考えることができるようになる。 [主]・評論文を積極的に読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉えようとしている。
	7	「世代間倫理としての環境倫理学」	○	○															
二年(思考力養成期)	9	「記号を使う動物」 「言葉がつくる女と男」	○	○															[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、言葉の創造的な側面について理解を深める。
	11	「病と科学」 「ゲノム編集とiPS細胞」	○	○															[知技]・筆者の提示する問題を読み取って整理できるようにする。 [思判表]・さまざまな観点から生命についての理解を深め、自分の意見をもてるようになる。 [主]・学術的な概念を扱った評論文を読み、積極的に内容を理解しようとしている。
	12	「ミロのヴィーナス」 「空白の意味」	○	○															[知技]・表現上の工夫とその効果に注意して論の展開をつかめるようになる。 [思判表]・論理展開に留意しながら的確に筆者の主張を読み取り、芸術について理解を深める。
二年(応用力養成期)	1	「『なぜ』に答えられない科学」	○	○	○														[知技]・筆者の提示する問題を読み取って整理できるようにする。 [思判表]・筆者の主張を読み取り、科学の知とほどのようなものなのかを理解する。
	2	「『市民』のイメージ」	○	○	○														[知技]・提示された事例について整理できるようにする。 [思判表]・筆者の考える「市民社会」について理解し、現代社会の課題について考えを深める。
	3	「『である』ことと『する』こと」	○	○															[知技]・例示と意見の関係を整理して読解できるようにする。 [思判表]・筆者の主張を理解し、変化する社会における人間のあり方について考えを深める。 [主]・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようになる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選古典探究』 (大修館書店)	副教材等	「新明説総合古典文法」 (尚文出版) ・ 「新明説漢文」 (尚文出版) ・ 「古語辞典」 ・ 「漢和辞典」 ・ 「Look@古文単語337」 (啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	古典を読むのに必要な知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準			
				方根 探・丸 儀ニ基 礎人間	と思考 なる学 力の実 践の材 料や根 拠	コミコ ニケリ ンコン 能力	情報取 集力	力想像 力・未 来を予 測する	課題を 発見す る力	方客観 的・メ タ認知 を見つ める	論理的 思考力	シケー ラリテ イ・ク レティ シキ	情報分 析力 →批判 的・創 造的思 考力	創造す る力	情報発 信力		課題を 解決す る力	計画力 →実行 力 →振り返 り力	主体的 な行動 力
二年 (基礎力養成期)	一学期	4	宇治拾遺物語「猿蓑使忠明のこと」 十訓抄「大江山いくの語」 故事・逸話「知音」「画竜点睛」	○	○													[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語および漢語と、現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。  [知技]・随想の鑑賞方法を習得し、歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・筆者の心情を読み取り、現代にも通じる価値観について理解を深めようとしている。  [知技]・漢詩の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・表現を味わい、作者の心理的確に読み取ることができるようになる。	
		5		徒然草「家屋のつきづきしく」「今日はそのことをなさんと思へど」	○	○													
		7		故事・逸話「塞翁馬」 漢詩「竹里館」他	○	○													
二年 (思考力養成期)	二学期	9	伊勢物語「月やあらぬ」「つひにゆく道」 文章「桃花源記」	○	○													[知技]・古語や漢語、古典文法や句法を踏まえて的確な口語訳ができるようになる。 [思判表]・筆者のものの見方、考え方を的確に理解する。  [知技]・語句や文法、句法を活用し、的確な現代語訳ができるようになる。 [思判表]・登場人物の行動や心理、状況を的確に把握し、読解を深める。  [知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・登場人物の心情を丁寧に読み取り、時代を超えて共感される内容を理解しようとしている。	
		10		枕草子「すさまじきもの」 「中納言参りたまひて」 史記「鴻門の会」	○	○													
		12		源氏物語「光源氏の誕生 (桐壺の更衣)」	○	○													
二年 (応用力養成期)	三学期	1	源氏物語「光源氏の誕生 (玉の男皇子)」	○	○													[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。  [知技]・古代中国の歴史や時代背景を理解しながら、諸子百家の思想について理解する。 [思判表]・それぞれの思想における人間観や社会観を比較しながら的確に読み取る。 [主]・自らの人間観・世界観を深める。  [知技]・源氏物語の学習を踏まえ、本作の特徴を理解する。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。	
		2	思想「論語」「孟子」「老子」「荘子」「韓非子」	○	○														
		3	更級日記「門出」「源氏の五十余巻」	○	○														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選古典探究』(大修館書店)	副教材等	「新明説総合古典文法」(尚文出版)・「新明説漢文」(尚文出版)・「古語辞典」・「漢和辞典」・「Look@古文単語337」(啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	古典を読むのに必要な知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準			
			力検出・ 評価 → 基礎人間 性	思考・ 表現 → 学力 → 知識 → 技能	コミュニケーション 能力	情報 収集 力	想像 力 → 未来 を 予 測 す る 力	課題 を 発 見 す る 力	客 観 的 に 認 知 す る 力	論 理 的 思 考 力	情 報 分 析 力 → 批判 的 思 考 力 → シ ン ク ラ ン ク 力	創 造 す る 力	情 報 発 信 力	課 題 を 解 決 す る 力		設 計 力 → 実 行 力 → 反 省 力	主 体 的 な 行 動 力	→ 協 働 力 → チ ーム ワ ー ク
二年(基礎力養成期)	4	十訓抄「大江山いくのの道」 故事・逸話「知音」  徒然草「今日はそのことをなさんと思へど」  漢詩「竹里館」他	○	○														[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語および漢語と、現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。  [知技]・随想の鑑賞方法を習得し、歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・筆者の心情を読み取り、現代にも通じる価値観について理解を深めようとしている。  [知技]・漢詩の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・表現を味わい、作者の心理的確に読み取ることができるようになる。
	5		○	○														
	6		○	○														
二年(思考力養成期)	9	伊勢物語「月やあらぬ」 文章「桃花源記」  枕草子「すさまじきもの」 史記「鴻門の会」  源氏物語「光源氏の誕生(桐壺の更衣)」	○	○														[知技]・古語や漢語、古典文法や句法を踏まえて的確な口語訳ができるようになる。 [思判表]・筆者のものの見方、考え方を的確に理解する。  [知技]・語句や文法、句法を活用し、的確な現代語訳ができるようになる。 [思判表]・登場人物の行動や心理、状況を的確に把握し、読解を深める。  [知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・登場人物の心情を丁寧に読み取り、時代を超えて共感される内容を理解しようとしている。
	10		○	○														
	11		○	○														
二年(応用力養成期)	1	源氏物語「光源氏の誕生(玉の男皇子)」  思想「論語」「孟子」「老子」「荘子」「韓非子」  更級日記「門出」	○	○	○													[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。  [知技]・古代中国の歴史や時代背景を理解しながら、諸子百家の思想について理解する。 [思判表]・それぞれの思想における人間観や社会観を比較しながら的確に読み取る。 [主]・自らの人間観・世界観を深める。  [知技]・源氏物語の学習を踏まえ、本作の特徴を理解する。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
	2		○	○	○													
	3		○	○	○													

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査・単元テスト・課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選論理国語』 (三省堂)	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字」 (桐原書店) ・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	評論に必須の語彙力を身に付け、筆者の問題提起に対し、具体的な事例に基づいて主張を正確に読み取る。文章を構造的に解釈し、構成を適切に理解する。	
	思考・判断・表現	文章を論理的に解釈し、作品の主題を適切に理解する。作者の意図を捉え、自身の生活に置き換えることで、よりよい人間関係のあり方について考えを深める。	
	主体的に学習に取り組む態度	筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりする姿勢を養う。また、入試問題の分析・研究をとおして、学ぶ意欲を高める。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力発揮・礼儀 (基礎人間)	と思考・実践の学力 (知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見出す力	客観的に物事を見つめる	論理的思考力	シグナリテイク能力 (批判的シキ)	情報発信力	課題を解決する力		主体的な行動力	コミュニケーション力
三年 (実践力養成期)	一学期	4 5 「流言とメディア」	○	○	○	○	○	○	○							[知技] ・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理的構造について理解できるようになる。 [思判表] ・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。 [主] 筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりすることができるようになる。
		6 「夢は何語で見る？」 「『対話』の言葉をつくる」	○	○			○	○	○	○		○	○			[知技] ・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表] ・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言語と自我の構造について考えを深める。 [主] 筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりすることができるようになる。
		7 「持続可能な福祉社会への道」	○	○			○	○	○	○	○		○	○		
三年 (実践力養成期)	二学期	9 「落語の中の経済学」 「『文化が遡る』とは何を意味するのか？」	○	○			○	○	○	○		○	○			[知技] ・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表] ・筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。人間関係のあり方について考えを深める。
		11 大学入試対策演習		○		○	○	○	○	○		○	○			[知技] ・[思判表] ・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主] ・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
		12 大学入試対策演習		○		○	○	○	○	○		○	○			[知技] ・[思判表] ・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主] ・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
三年 (実践力養成期)	三学期	1 大学入試対策演習		○		○	○	○	○	○		○	○			[知技] ・[思判表] ・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主] ・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている。
		2														
		3														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト、単元テスト、定期考査、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期考査、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選論理国語』(三省堂)	副教材等	「書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字」(桐原書店)・国語辞典
学習の到達目標	知識・技能	評論に必須の語彙力を身に付け、筆者の問題提起に対し、具体的な事例に基づいて主張を正確に読み取る。文章を構造的に分析し、構成を適切に理解する。	
	思考・判断・表現	文章を論理的に解釈し、作品の主題を適切に理解する。作者の意図を捉え、自身の生活に置き換えることで、よりよい人間関係のあり方について考えを深める。	
	主体的に学習に取り組む態度	筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりする姿勢を養う。また、入試問題の分析・研究をおとして、学が意欲を高める。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
				力探検・礼儀(基礎人間)	と思考・表現となる学力(知識・理解・表現)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見出す力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	シグナリティー批判的思考	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	未知を切り拓くキャリア		主体的な行動力	へチムワーク
三年(実践力養成期)	一学期	4	「流言とメディア」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付け、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。 [主]筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりすることができるようになる。
		6	「夢は何語で見る?」「『対話』の言葉をつくる」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言語と自我の構造について考えを深める。 [主]筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりすることができるようになる。
		7	「持続可能な福祉社会への道」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・本文中の二つの課題点を追体験しながら読めるようにする。 [思判表]・筆者の主張を的確に読み取り、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 [主]筆者のものの見方や考え方を捉え、想像したり共感したりすることができるようになる。
三年(実践力養成期)	二学期	9	「落語の中の経済学」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・提示された問いに注意して読む。挙げられた事例と筆者の分析の関係に注意する。 [思判表]・筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。人間関係のあり方について考えを深める。
		10	「『文化が違う』とは何を意味するのか?」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学が意欲を向上させている。
		11	大学入試対策演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学が意欲を向上させている。
三年(実践力養成期)	三学期	12	大学入試対策演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学が意欲を向上させている。
		1	大学入試対策演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学が意欲を向上させている。
		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学が意欲を向上させている。
3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学が意欲を向上させている。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト、単元テスト、定期考査、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期考査、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	『精選古典探究』(大修館書店)	副教材等	「新明説総合古典文法」(尚文出版)・「新明説漢文」(尚文出版)・「古語辞典」・「漢和辞典」・「Look@古文単語337」(啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、古典を読むために必要なまきを理解する。	
	思考・判断・表現	論理的に考える力を身に付け、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

学年	学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準				
				力候補・礼儀(基礎人間)	思考・実践の材料や根拠となる字句(知識)	コミュニケーション能力	情報取集力	想像力・主要を予測する力	課題を見出す力	方眼・メタ認知	客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	シグナリティー・カルシシキ	情報分析力(批判的思考)	創造する力		情報活用力	課題を解決する力	課題を切り拓くキャリア	主体的な行動力
三年(実践力養成期)	一学期	4	今昔物語集「馬盗人」 故事・逸話「水魚の交はり」 他	○	○														[知技]・古典を読むために必要なまきや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語・漢語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。  [知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。  [知技]・随想・漢詩の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・表現を味わい、作者の心理を的確に読み取ることができるようになる。	
		6		枕草子「二月つごもりごろに」他 史伝「史記」	○	○														
		7		大鏡「肝だめし」他 文章「師説」他	○	○														
三年(実践力養成期)	二学期	9	源氏物語「須磨の秋」他 思想「暴虎馮河」「夢為蝴蝶」他	○	○														[知技]・まとまった内容の文章に慣れ、語彙・文法・句法などを確認する。 [思判表]・登場人物の関係や行動・心理を的確に理解し、深く読み味わうことができるようになる。  [知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている  [知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている	
		11		大学入試対策演習			○													
		12		大学入試対策演習			○													
三年(実践力養成期)	三学期	1	大学入試対策演習			○													[知技]・[思判表]・演習問題や過去問題を解いて解答力を付ける。 [主]・多様な入試問題に対して、よく研究し、策を練るなど学ぶ意欲を向上させている	
		2																		
		3																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・知識や技能の習得を問う小テスト、単元テスト、定期考査、課題実力考査
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期考査、課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度



使用教科書	地理総合改訂版世界に学び地域へつなぐ(山川出版) 新詳 高等地図(帝国書院)	副教材等	地理総合ワークブック(山川出版)
学習の到達目標	知識・技能	生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	
	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色等を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて情想したりする力や、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	

学期	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準	
		力探検・丸読(基礎力)	思考・探究(基礎力)	コミュニケーション能力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力	課題を整理する力		課題を整理する力
一学期 (基礎力養成期)	4 5 6 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 地球上での位置の示し方を理解し、日常生活における時差計算の技能を身に付ける。 [知技] 世界地図の様々な図法の特徴を捉え、グローバルな立場から日本の領域を理解する。 [知技] 地図やGISを活用する技能を身に付ける。 [思判表] 統計地図やグラフを読み取る技能を身に付け、資料を根拠に課題解決の方策を考える。 [主] 地図や地理情報システムと現代世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	9 10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 社会経済システムの変化に焦点を当て、中国や韓国を例にその特徴を捉える。 [知技] 多民族社会と地域統合に焦点を当て、多様な文化をもつ東南アジアについて理解する。 [思判表] 南アジアの水資源に焦点を当て、水資源と宗教、農業、文化や産業の関わりを各種資料をもとに考察する。
	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] イスラームに焦点を当て、気候条件や宗派、資源などの視点から考察を深める。 [知技] 自然環境や生活文化の多様性に焦点を当て、アフリカの課題について考える。 [思判表] 産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴や背景を主題図やグラフをもとに捉える。
	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、アメリカやカナダを例に多民族社会とその歴史的背景について理解する。 [思判表] 開発に焦点を当て、植民の歴史とそこに展開する産業を主題図や各種資料から捉える。 [主] 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
二学期 (思考力養成期)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 地球環境問題がグローバルな問題であると同時に、自らの問題でもあることをSDGsを踏まえて認識する。 [主] 各種資源について、分布の偏在やそれにと異なる格差、資源の枯渇などの問題とその解決に向けた取り組みをSDGsに関連づけて捉える。
	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[思判表] 人口が急増する世界の現状を捉え、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、その背景や問題点を整理する。 [主] 都市に人口が集中する現状とそれにと異なる問題を捉え、都市計画とSDGsと関連づけてながら解決策を考える。
	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[知技] 日本列島の自然環境の特徴を理解し、自然災害の事例についてハザードマップや気象情報などを活用する技能とともに捉える。 [主] 日本が抱える地域的な課題について、身近な事例を取り上げ、少子高齢化や過疎化について調査の技能を身に付ける。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的知識を身に付け、相互の関連について理解し、地図の独自や資料の読み取りなどの地理的技能を身に付けている。	
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方・考え方から考察し、地理情報を活用して表現している。	・小テスト、単元テスト、定期考査など ・話し合い活動や発表 ・作業学習への取り組みと成果
主体的に学習に取り組む態度	周囲と協働して積極的に地理的問題について考察を深め、地理を学ぶことを自己の成長につなげている。	

使用教科書	歴史総合新訂版むすびつく世界と日本 (実教出版)	副教材等	歴史総合新訂版 演習ノート (実教出版)
学習の到達目標		知識・技能	近現代の歴史の形成について理解し、資料を適切に活用する技能を身に付ける。
		思考・判断・表現	近現代の歴史を多面的・多角的に考察し、それを説明したり、議論したりする力を身に付ける。
		主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の理解をとおして、我が国および他の国の文化を尊重することの大切さを身に付ける。

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力(座)部・礼儀(基礎人間)	と思考・実践の材料や歴史	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	多角的に物事を捉える力	論理的思考力	情報活用能力	創造する力	情報発信力		課題を解決する力	主体的な行動力
一学期	4	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動														【知識】身の回りの事象と世界の歴史が繋がっていることを理解する。 【技能】近代化に関する複数の資料を分析し、そこから読み出した情報を適切に取り扱う技能を身に付ける。 【思考】18世紀のアジア各地域間や欧米諸国との貿易と、日本への影響について理解する。 【史料表】「大航海時代」から「世界の一体化」に至る交易の意義と地域の差容について考察し、自分の言葉で表現する。 【主】諸資料から近代化について理解し、見通しをもって学習に取り組む。
	5	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」														【知識】市民革命と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制の成立の経緯を理解する。 【史料表】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 【主】市民革命や産業革命がもたらした課題について、解決策を追究しようとする。
	6	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成														【知識】明治維新後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。 【史料表】明治維新の歴史的な意義や立憲体制の確立について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現する。 【主】明治維新や日本の立憲体制の確立、アジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策を追究する。
二学期	7	第4章 帝国主義の時代														【知識】自国・自国戦争が国内や周辺地域に与えた影響や帝国主義による世界分割を理解する。 【史料表】自国・自国戦争が国内や周辺地域に与えた影響や国民国家の形成・発展による対外戦争、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現する。 【主】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究する。 【主】近代化について、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出そうとする。
	9	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会														【主】諸資料から大衆化について理解し、見通しをもって学習に取り組む。 【知識】国際関係の歴史を軸に、第一次世界大戦の経緯と、その後の影響や社会の変化について理解する。 【史料表】第一次世界大戦の経緯や戦時体制が社会に与えた影響、その後の新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。 【主】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加、ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。
	10	第6章 世界大戦														【知識】世界大戦から第二次世界大戦の経緯に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解する。 【史料表】ヴェルサイユ体制の形成から経緯に至るまで、ドイツや日本が大衆化の戦争に陥りていったのかを考察し、自分の言葉で表現する。 【主】大衆の戦争への参加という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。
三学期	11	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化														【知識】冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和への新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解する。 【史料表】第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経緯がもたらした変化を考察し、自分の言葉で表現する。 【主】大戦後に形成された平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているのかについて考察し、解決策を追究しようとする。 【主】現代的な諸課題に關する国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解し、よりよい社会の実現を視野に現代につながる課題を見出そうとする。
	12	第8章 多極化する世界														【知識】諸資料からグローバル化について理解し、多様な人々が共存する社会の発展について、見通しをもって学習に取り組む。 【知識】冷戦下の緊張と緩下の経緯と、そのなかでの「第三世界」の形成や日本の高度経済成長と冷戦下における各国の選取について、理解する。 【史料表】冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現する。 【主】冷戦下における各国の政治的・経済的選取が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとする。
	1	第9章 グローバル化と現代世界														【知識】冷戦終結の経緯とグローバル化の特徴について理解する。 【史料表】グローバル化の進展や地域経済、テクノロジーの進化について、各地域を比較して考察し、その影響や課題を自分の言葉で表現する。 【主】冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。 【知識】グローバル化に伴う多極化や脱グローバル化運動への対応、多極性の存在などをみずからの問題として理解する。 【史料表】グローバル化が進むなかでの日本の役割について、進められるべき課題を考察し、表現する。 【知識】身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することを、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解する。 【主】みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 【主】分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。
2	第9章 グローバル化と現代世界														【知識】冷戦終結の経緯とグローバル化の特徴について理解する。 【史料表】グローバル化の進展や地域経済、テクノロジーの進化について、各地域を比較して考察し、その影響や課題を自分の言葉で表現する。 【主】冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。 【知識】グローバル化に伴う多極化や脱グローバル化運動への対応、多極性の存在などをみずからの問題として理解する。 【史料表】グローバル化が進むなかでの日本の役割について、進められるべき課題を考察し、表現する。 【知識】身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することを、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解する。 【主】みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 【主】分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。	
3	第9章 グローバル化と現代世界														【知識】冷戦終結の経緯とグローバル化の特徴について理解する。 【史料表】グローバル化の進展や地域経済、テクノロジーの進化について、各地域を比較して考察し、その影響や課題を自分の言葉で表現する。 【主】冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。 【知識】グローバル化に伴う多極化や脱グローバル化運動への対応、多極性の存在などをみずからの問題として理解する。 【史料表】グローバル化が進むなかでの日本の役割について、進められるべき課題を考察し、表現する。 【知識】身近な課題を考察するうえで歴史的な見方や考え方を活用することを、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解する。 【主】みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとする。 【主】分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとする。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出課題、レポート</li> <li>定期考査等、小テスト</li> <li>ディスカッション</li> <li>グループワーク</li> </ul> ほか
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、発表したりする力を身に付けている。	
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を協働して主体的に追究、解決しようとしている。	

使用教科書	新詳地理探究(帝国書院)	副教材等	図説地理資料(世界の諸地域NOW2026)(帝国書院) 新地理研究ノート(啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解し、調査や速報資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存関係などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。	
	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力						実践力				活動内容・評価規準	
			力探検・礼儀一見鑑入問	と他者・光輝の材料や情報	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・主要を手探りする	説題を発見する力	力客観的に認知する力	論理的思考力	力情報分析力(批判的・シミュレーション)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	主体的な行動力		主体的な行動力
二年(思考力養成期)	4	地球システムのなかで生きる私たち 地形の成因と大地形と小地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性や傾向性、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みについて理解している。 (思考・判断・表現) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	5	河川流域と海岸に見られる地形 気候の成り立ち 気候と生態系、気候区分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	さまざまな気候帯 気候変動と異常気象 日本の地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	日本の気候 地球環境問題 農業の発達と分布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	9	農業の地域区分 現代世界の農業の現状と課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) 資源・エネルギーや農業に関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の解決に向けた取組などについて理解している。 (思考・判断・表現) 資源・エネルギーや農業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	10	世界と日本の林業 世界と日本の水産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	世界と日本の食料問題 エネルギー資源の種類と利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	化石燃料の分布と利用 電力の利用 鉱山資源の種類と利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	1	工業の発達の種類 工業の立地 世界の工業地域 現代世界の工業の課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) 交通・通信網と物流や人の移動に関する課題、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関する課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 (思考・判断・表現) 交通・通信網と物流や人の移動に関する課題、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、地球的課題の要因や動向を多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	2	第三次産業 交通と通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	観光 貿易と経済圏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	各まとまり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解している。	ペーパーテスト、口頭試問
思考・判断・表現	各まとまり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現している。	ペーパーテスト
主体的に学習に取り組む態度	各まとまり、単元で学習する内容について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート、マインドマップ等

使用教科書	新詳地理探究(帝国書院)	副教材等	図説地理資料(世界の諸地域NOW2026)(帝国書院) 新地理研究ノート(啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解し、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存関係などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。	
	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して世界の諸地域の多様な生活文化を導き出す。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力					活動内容・評価規準		
			力発揮・丸握(基礎人間)	と思考・表現の力(知識への理解)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・考察を予測する	課題を見出す力	方々風的に諸事象を見つめる	論理的思考力	シグナリテ(批判的シグナリテ)	情報分析力(批判的シグナリテ)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		設計力を切り拓くキヤリア	主体的な行動力
二年(思考力養成期)	4	・地球システムのなかで生きる私たち ・地形の成因と大地形と小地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性や傾向性、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みについて理解している。(知識・技能)</li> <li>・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>
	5	・河川流域と海岸に見られる地形 ・気候の成り立ち ・気候と生態系、気候区分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	・気候と生態系、気候区分 ・さまざまな気候帯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	・気候変動と異常気象 ・日本の地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	9	・日本の気候 ・地球環境問題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・エネルギーや農業に関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の解決に向けた取組などについて理解している。(知識・技能)</li> <li>・資源・エネルギーや農業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>
	10	・農業の発達と分布 ・農業の地域区分 ・現代世界の農業の現状と課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	・世界と日本の林業 ・世界と日本の水産業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	・世界と日本の食料問題 ・エネルギー資源の種類と利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二年(思考力養成期)	1	・化石燃料の分布と利用 ・電力の利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>
	2	・鉱山資源の種類と利用 ・工業の発達と種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	・工業の立地 ・世界の工業地域 ・現代世界の工業の課題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	各まとなり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて理解している。	ペーパーテスト、口頭試問
思考・判断・表現	各まとなり、単元で学習する内容の規則性や傾向性、問題の現状や解決に向けた取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現している。	ペーパーテスト
主体的に学習に取り組む態度	各まとなり、単元で学習する内容について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート、マインドマップ等



使用教科書	詳説日本史 (山川出版社)	副教材等	新詳日本史 (浜島書店)
学習の到達目標	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象を考察し、課題を把握したり、考察したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を培う。	
	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			情報収集力	整理力	表現力	論理的思考力	批判的思考力	創造力	問題解決力	主体的な行動力	協働力	自己管理能力			
一学期	4	第1章 日本文化のあけぼの 文化の始まり、氏族社会の成立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 【思判表】環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】黎明期の日本列島の文化に着目して、原始社会の特色について明らかにしようとしている。
	5	第2章 古墳とヤマト政権 古墳文化の展開、飛鳥の朝廷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思判表】中国大陸・朝鮮半島との関係やその影響に着目して、古代の国家の形成過程について考察し、表現している。 【主】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、ヤマト政権や推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。
	6 7	第3章 律令国家の形成 律令国家への道、平城京の時代、律令国家の文化、律令国家の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】律令体制の成立過程と講文の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思判表】中国大陸・朝鮮半島との関係やその影響に着目して、古代の国家の形成過程について考察し、表現している。 【主】奈良時代・平安時代初期の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。
二学期	9	第4章 貴族政治の展開 摂関政治、国風文化 地方政治の展開と武士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】貴族政治の展開、平安朝の文化、地方支配の強化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思判表】地方の権勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、古代の国家・社会の変容について考察し、表現している。 【主】平安時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に追究しようとしている。
	10	第5章 院政と武士の躍進 院政の始まり、院政と平氏政権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】貴族政治の変容と武士の政治躍進、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 【思判表】権力の主体の変化、東アジアとの関係などに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】時代の転換に着目して、中世の特色について明らかにしようとしている。
	11 12	第6章 武家政権の成立 鎌倉幕府の成立、武士の社会、モンゴル襲来と幕府の衰退、鎌倉文化 第7章 武家社会の成長 室町幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の勃興、社会や文化の特色を理解している。 【思判表】公家関係の変化、宋・元(モンゴル帝国)とヨーロッパとの交流と経済や文化への影響などに着目して、中世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 【主】武家政権の成立と展開、鎌倉時代の産業・文化の発展や公家関係の変化、ヨーロッパとの交流などについて、課題を主体的に追究しようとしている。
三学期	1	第7章 武家社会の成長 室町文化、戦国大名の登場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】武家政権の変容、日明貿易の展開と徳川政権の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 【思判表】社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、中世の国家・社会の変容について考察し、表現している。 【主】中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
	2	第8章 近世の幕開け 徳川政権、徳川文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】幕府政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思判表】村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、近世から近世の国家・社会の変容を考察し、表現している。 【主】時代の転換に着目して、近世の特色について明らかにしようとしている。
	3	第9章 幕藩体制の成立と展開 幕藩体制の成立、幕藩社会の構造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の規制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立について理解している。 【思判表】幕府政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、近世の国家・社会の展開について考察し、表現している。 【主】近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しようとする。諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み</li> <li>提出課題、レポート</li> <li>定期考査、小テスト、単元テスト</li> <li>ディスカッション</li> <li>グループワーク</li> </ul> ほか
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、性格、比較、相関の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れた構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けている。	
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して達成される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	

使用教科書	詳説世界史 (山川出版社)	副教材等	アカデミア世界史 (浜島書店)
学習の到達目標	知識・技能	世界の歴史の枠組みと展開について理解し、情報を活用してまとめる技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	世界の歴史の枠組みと展開について多面的・多角的に考察し、それを説明したり、議論したりする力を身に付ける。	
	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史を学ぶことで、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重する心を養う。	

学年	学期	単元名	基礎力			思考力				実践力			活動内容・評価規準	
			力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識	力場・力場・基礎知識		
二年一学期	4 5 6	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 ・文明の誕生、オリエント世界(メソポタミア、エジプト等)、中国の古代文明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代文明滅亡の原因を環境問題から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
		第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ・中央ユーラシア、秦・漢、中国の動乱と変容、東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ユーラシアの東部の諸民族と農耕の2つの世界の関係を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	9 10	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家、インド古典文化とヒンドゥー教の定着、東南アジア世界の形成と展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・古代インドで生まれた文化の周辺地域や日本への影響を見たことが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	11	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イラン諸国家の興亡とイラン文明、ギリシア人の都市国家、ローマと地中海支配、キリスト教の成立と発展	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・ローマが全地中海世界を統一できたのはなぜかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	12	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・アラブの大征服とイスラーム政権の成立、ヨーロッパ世界の形成 第6部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
二年一学期	1	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・西ヨーロッパの封建社会とその展開、東ヨーロッパ世界の展開、西ヨーロッパ世界の変容、中世文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・十字軍がもたらした影響を文献から読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
		第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸地域の自立化と宋、モンゴルの大帝国 第9章 大交易・大交流の時代 ・アジア交易世界の興隆、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・モンゴル帝国が与えた世界的影響を考察できる。 ・ヨーロッパによる銀の世界的流通が中国に与えた影響について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
	3	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ・オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清代の中国と隣接諸地域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・歴史的用語の理解と説明ができる。 ・歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 ・「世界の一体化」の中でアジアの巨大な領土をもつ諸帝国について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークや討論において積極的に参加している。
評価の観点内容			評価方法											
知識・技能	歴史用語とその内容を理解している、それらの関連を流れとして論理的に捉えることができる。歴史資料や統計資料・地図等を活用し、必要な情報を入力できる、論理的な展開で説明できる。										定期考査、単元テスト 小テスト			
思考・判断・表現	現代や身近な物事と比較しながら世界史を学ぶことの意義と必要性を考えようとしている。また、歴史上の事象における選択の場面で、どういった選択がどのような結果をもたらすか考えている。工夫して、わかりやすく自分の考え等を説明する力を身に付けている。										定期考査等での記述式問題 授業での発表、発言、疑問点の指摘			
主体的に学習に取り組む態度	グループワークや討論等協働的な活動を通して、積極的に学ぼうとする姿勢が見られる。歴史を学ぶことを、人間としての成長に繋げることができる、協働して学ぶ姿勢や態度を習得している。										授業ノートや考査の訂正ノート等の成果物 授業や考査に関する自己評価シート			

使用教科書	詳説世界史(山川出版社)	副教材等	アカデミア世界史(浜島書店)
学習の到達目標	知識・技能	世界の歴史の枠組みと展開について理解し、情報を活用してまとめる技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	世界の歴史の枠組みと展開について多面的・多角的に考察し、それを説明したり、議論したりする力を身に付ける。	
	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史を学ぶことで、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重する心を養う。	

学期	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準		
		人権関係・丸読み・基礎	一や二思考・課題と異なる資料	一や二思考・課題と異なる資料	一や二思考・課題と異なる資料	知識の整理力	論理的思考力	批判的思考力	創造的思考力	情報活用能力	課題解決能力	主体的な行動力	一や二思考・課題と異なる資料			
二学期	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質 ・文明の誕生、オリエント世界(メソポタミア、エジプト等)、中国の古代文明	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - 古代文明滅亡の原因を環境問題から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 ・中央ユーラシア、秦・漢、中国の動乱と変容、東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - ユーラシアの東部の遊牧と農耕の2つの世界の関係を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・仏教の成立と南アジアの統一国家、インド古典文化とヒンドウー教の定着、東南アジア世界の形成と展開	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - 古代インドで生まれた文化の周辺地域や日本への影響を見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
二学期	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・イラン諸国家の興亡とイラン文明、ギリシア人の都市国家、ローマと地中海支配、キリスト教の成立と発展	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - ローマが全地中海世界を統一できたのはなぜかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
	第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・アラブの大征服とイスラム教の成立、ヨーロッパ世界の形成 第2部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - ヴァン人の大移動と移民問題を比較検討できる。 - イスラム教の本来の姿を学び、自分のもつイメージとの比較検討ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ・西ヨーロッパの封建社会とその展開、東ヨーロッパ世界の展開、西ヨーロッパ世界の変容、中世文化	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - 十字軍がもたらした影響を文献から読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
三学期	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・アジア諸地域の自立化と宋、モンゴルの大帝国 第9章 大交易・大交流の時代 ・アジア交易世界の興隆、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - モンゴル帝国が与えた世界的影響を考察できる。 - ヨーロッパによる我が国の流通が中国に与えた影響について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ・オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清代の中国と隣接諸地域	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - 「世界の一体化」の中でアジアの巨大な領土をもつ諸帝国について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。
																【知識・技能】 - 歴史的用語の理解と説明ができる。 - 歴史の流れを説明できる。 【思考・判断・表現】 - 「世界の一体化」の中でアジアの巨大な領土をもつ諸帝国について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - グループワークや討論において積極的に参加している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	歴史用語とその内容を理解している。それらの関連を流れとして論理的に捉えることができる。歴史資料や統計資料・地図等を活用し、必要な情報を入手できる。論理的な展開で説明できる。	・定期考査、単元テスト ・小テスト
思考・判断・表現	現代や身近な物事と比較しながら世界史を学ぶことの意義と必要性を考えようとしている。また、歴史上の事象における選択の場面で、どういった選択がどのような結果をもたらすか考えている。工夫して、わかりやすく自分の考え等を説明する力を身に付けることができる。	・定期考査等での記述式問題 ・授業での発表、発言、疑問点の指摘
主体的に学習に取り組む態度	グループワークや討論等協働的な活動を通して、積極的に学ぶ姿勢が見られる。歴史を学ぶことを、人間としての成長に繋げることができる。協働して学ぶ姿勢や態度を習得している。	・授業ノートや考査の訂正ノート等の成果物 ・授業や考査に関する自己評価シート

使用教科書	高等学校 改訂版 公共(第一学習社)	副教材等	学習事項の整理と問題 改訂版公共ノート(第一学習社)
学習の到達目標	知識・技能	考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に読み取る技術を身に付ける。	
	思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多角的・多面的に考察し公正に判断する力や表現する力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力					実践力				活動内容・評価規準			
			力検挙・丸読(基礎人間)	と思考・五種の学力(知識力や態度)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	力を認める力(メタ認知)	論理的思考力	力(クリティカルシンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力		能力を切り拓くキャリア	主体的な行動力	一歩踏み出そう
一学期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【注】社会に参画する自立した主体とは、誰かによって生かされるのではなく、地域社会などのさまざまな関係の中で生きて、他者との関係により当事者として国や社会などの公共的な空間を形成していることを示す。</p> <p>【加註】古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p> <p>【加註】憲法の下、適正な手続きに則り、法や規程に基づいて各人の意見や利益を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調整、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</p> <p>【加註】契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。</p> <p>【加註】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要とすると、国民が果たすべき責任を考える。</p>
	5	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6	第1章 法的な主体となる私たち 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
二学期	9	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>【加註】よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。</p> <p>【加註】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考える。</p> <p>【注】政治や選挙の意義を踏まえ、主権者としての自覚をもつ。</p> <p>【加註】日本国憲法の平和主義の原則、私たちが果たすべき責任を理解する。</p> <p>【加註】国際社会を実現するために必要な日本の役割を考察する。</p> <p>【加註】公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通じて富の効率的な配分が行われること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与した事例を事例ながら知っていること及びより高度な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</p> <p>【加註】少子高齢化による労働力不足が問題となる中、高度な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。</p> <p>【加註】公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるように理解する。</p> <p>【加註】経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのかを考える。</p>
	10	主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三学期	12	主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融の役割	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1	主題12 財政の役割と社会保障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	主題13 経済のグローバル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、論理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・単元テスト、定期調査や課題実力調査
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多角的・多面的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・単元テスト、定期調査や課題実力調査
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度



使用教科書	詳説日本史 (山川出版社)	副教材等	新詳日本史 (浜島書店) 要点整理ゼミナール日本史 (浜島書店) 日本史重要語句Check List (啓隆社)
学習の到達目標	知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象を考察し、課題を把握したり、考察したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を培う。	
	主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	

学期	単元名	基礎力			思考力				実践力				活動内容・評価規準		
		関係の探求・丸読みの要する箇所を把握する力	高度な思考・判断・表現の力	資料の活用・整理の力	課題を把握する力	課題を解決する力	課題を説明する力	課題を議論する力	課題を解決する力	課題を説明する力	課題を議論する力				
一学期	第9章 幕藩体制の展開 幕府の安定、経済の発展 元禄文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]技術の向上と開港の進展、学問・文化の発展などを基に、近世の社会と文化の特色を理解する。 [思判表]近世の国家・社会の展開について考察し、表現する。 [主]近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、主体的に探究しようとする。
	第10章 幕藩体制の動揺 幕府の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]幕府政治の動揺と諸藩の動向、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 [思判表]幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響などに着目して、近世の国家・社会の変容について考察し、表現する。 [主]近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、主体的に探究しようとする。
	第11章 近世から近代へ 開国と幕末の動乱、幕府の滅亡と 新政府の発足	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政府の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 [思判表]欧米諸国の進出によるアジア基国の変化、政治・経済の変化などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を考察し、表現する。 [主]時代の転換に着目して、近代の特色について明らかにしようとする。 [知技]明治維新、自由民権運動を基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 [思判表]日本の工業化の進展、近代の文化の形成について考察し、表現する。 [主]明治維新の変化に関わる諸事象について、追究しようとする。
	第12章 近代国家の成立 明治維新と富国強兵、立憲国家 の成立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 [思判表]国際的地位の確立や第一次世界大戦前後の対外政策、国内経済、国民の政治参加の拡大について考察し、表現する。 [主]近代国家形成の変化に関わる諸事象について、探究しようとする。
二学期	第13章 近代国家の展開 日清・日露戦争と国際関係、第一 次世界大戦と日本、ワシントン体 統	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 [思判表]国際的地位の確立や第一次世界大戦前後の対外政策、国内経済、国民の政治参加の拡大について考察し、表現する。 [主]近代国家形成の変化に関わる諸事象について、探究しようとする。	
	第14章 近代の産業と生活 近代産業の発展、近代文化の発 達、市民生活の変容と大衆文化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解する。 [思判表]日本の工業化の進展、近代の文化の形成について考察し、表現する。 [主]近代国家形成の変化に関わる諸事象について、探究しようとする。
	第15章 恐慌と第二次世界大戦 恐慌の時代、軍部の台頭、第二 次世界大戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 [思判表]国際社会やアジア近隣諸国との関係、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて考察し、表現する。 [主]十五年戦争の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。
	第16章 占領下の日本 占領と改革、冷戦の開始と調和	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]占領政策と改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復などを基に、政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解する。 [思判表]戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について考察し、表現する。 [主]戦後日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。
三学期	第17章 高度成長の時代 55年体制、経済復興から高度経 済成長へ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 [思判表]グローバル化の進展の影響、国民の生活の変化などに着目して、政治の展開、日本経済の発展、国際社会での日本の役割について考察し、表現する。 [主]現代日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	
	第18章 激動する世界と日本 経済大国への道、冷戦の終結と日 本社会の変容	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 [思判表]グローバル化の進展の影響、国民の生活の変化などに着目して、政治の展開、日本経済の発展、国際社会での日本の役割について考察し、表現する。 [主]現代日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	
	課題研究	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	{[知技]歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する。 [思判表][主]自分の調べたいテーマを設定し、資料収集・分析をおこなって、まとめる。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけた総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けている。	授業への取り組み 提出課題、レポート 定期考査、小テスト、単元テスト ディスカッション グループワーク ほか
主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛着、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	





使用教科書	「高等学校 政治・経済」(第一学習社)	副教材等	学習事項の整理と問題 政治・経済ノート (第一学習社)
学習の到達目標	知識・技能 社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。 思考・判断・表現 現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断する。 主体的に学習に取り組む態度 よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的にかつ積極的に解決しようとする。		

年次	学期	単元名	基礎力		思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			二単元的に学習する力	力(思考・判断・表現)を必要とする力	二単元的に学習する力	力(思考・判断・表現)を必要とする力	二単元的に学習する力	力(思考・判断・表現)を必要とする力	二単元的に学習する力	力(思考・判断・表現)を必要とする力					
一 学 期	1	第1章 現代日本の政治・経済の諸課題												【知識・技能】 政治の仕組みや機能の基礎的な役割について理解している。 法の支配や憲法主義の意義と意義について理解している。 憲法が人権を保障した意義や経緯について理解している。 民主政治のあり方、議院内閣制や大統領制の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	
		第2章 日本国憲法の現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 ③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥国会の組織と立法 ⑦議会の組織と立法 ⑧内閣の組織と行政													【知識・技能】 政治の仕組みや機能の基礎的な役割について理解している。 法の支配や憲法主義の意義と意義について理解している。 憲法が人権を保障した意義や経緯について理解している。 民主政治のあり方、議院内閣制や大統領制の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
		第3章 選挙権の行使と司法制度 第1節 選挙と政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 第2節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と家賃変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 第3節 持続可能な財政および税制のあり方 ①財政のしくみと税制の意義													【知識・技能】 選挙の仕組みや機能の基礎的な役割について理解している。 経済の発展と市場経済の発展について理解している。 持続可能な財政と税制の意義について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
	2	第4章 多岐にわたる経済活動の活性化 ①金融のしくみと役割													【知識・技能】 金融のしくみや機能の基礎的な役割について理解している。 日本経済における多岐にわたる経済活動について理解している。 現在の日本の経済と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 金融を通じた経済活動の活性化のしくみや方法を多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 現在の日本の経済と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
		第5章 経済活動と福祉の向上 ①日本経済の成長と中小企業・産業問題 ②労働関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 【選択】 1. 少子高齢化社会における社会保障の意義、安定性 2. 地域社会の自立と政府 3. 多様な働き方・生き方を可能にする社会 4. 産業構造の転換と雇用の安定 5. 高齢・障害者への対応と福祉の向上 6. 食料の安定供給の確保と持続可能な農業の発展 7. 防災と安全、安心な社会の実現													【知識・技能】 経済活動と福祉の向上の基礎的な役割について理解している。 日本経済の成長と中小企業・産業問題について理解している。 労働関係と労働問題について理解している。 社会保障制度と福祉のあり方について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
		第6章 グローバル化する国際社会の諸課題													【知識・技能】 国際社会の仕組みや機能の基礎的な役割について理解している。 国際社会の現状と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
		第7章 国際平和と人権の保障に資する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献													【知識・技能】 国際平和と人権の保障に資する日本の役割について理解している。 日本の安全保障と国際貢献について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
	二 学 期	12	第8章 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②為替相場の変動 ③国際貿易と国際経済機関の役割 第9章 国際経済における求められる日本の役割 ①国際経済における日本の地位と国際協力												【知識・技能】 相互依存関係が深まる国際経済の特質について理解している。 貿易の現状と意義について理解している。 為替相場の変動について理解している。 国際貿易と国際経済機関の役割について理解している。 国際経済における求められる日本の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
			第10章 持続可能な開発目標(SDGs)の達成 ①持続可能な開発目標(SDGs)の意義 ②SDGsの達成に向けた取り組み ③SDGsの達成に向けた取り組み												
		第11章 持続可能な開発目標(SDGs)の達成 ①持続可能な開発目標(SDGs)の意義 ②SDGsの達成に向けた取り組み ③SDGsの達成に向けた取り組み													【知識・技能】 持続可能な開発目標(SDGs)の意義について理解している。 SDGsの達成に向けた取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。
三 学 期	1	第12章 持続可能な開発目標(SDGs)の達成 ①持続可能な開発目標(SDGs)の意義 ②SDGsの達成に向けた取り組み ③SDGsの達成に向けた取り組み												【知識・技能】 持続可能な開発目標(SDGs)の意義について理解している。 SDGsの達成に向けた取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	
		第13章 持続可能な開発目標(SDGs)の達成 ①持続可能な開発目標(SDGs)の意義 ②SDGsの達成に向けた取り組み ③SDGsの達成に向けた取り組み												【知識・技能】 持続可能な開発目標(SDGs)の意義について理解している。 SDGsの達成に向けた取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 個人の権利や自由について議論する自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 権力と責任の関係をめぐり多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べとめている。	
思考・判断・表現	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	授業態度、ワークシート(主体的に学習に取り組む態度) 課題、テスト(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査、単元テスト、小テスト(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)